

第29回共に働くまちを拓くべんきょう 生きづらさの底から「働く」を見直す

9月28日(木)6時半～ 越谷市中央市民会館5階第6会議室

このべんきょう会は、障害者が地域で働くというテーマをきっかけにしながら、障害のない人の働きかたや暮らし方を含めて、フリーに語り合おうという会です。一回、一回、レポーターをお願いし、それを口火としておしゃべりしますので、初めての方でもどうぞおいで下さい。

今回は、精神障害の当事者達が創る雑誌のスタッフをしながら自分なりの就労を探っておられる小川さん・小松崎さんに、いろいろお話しいたします。

終了後お時間のある方は、ファミレスでおしゃべりしましょう。



会費・200円

主催・NPO法人障害者の
職場参加をすすめる
会 048-964-1819

話し手 小川さん 小松崎さん
手づくり雑誌「深呼吸」スタッフ

生きていくための底から「働く」を見直す

話し手・小川さん・小松崎さん

（手づくり雑誌「深呼吸」スタッフ）

小川さん・小松崎さんのプロフィール

小川さんは、精神障害者生活支援センターの当事者職員として月1回働いています。やはり当事者である小松崎さんはファーストフード店で働いていたのをやめ、現在エキスストラの仕事をしています。あまり口がかららないのが悩みとのことです。

「深呼吸」という雑誌は、越谷市内の精神科の病院の看護師をしているTさんが編集長となり、この病院のデイケアに通う人やその他の精神障害の当事者達が編集スタッフとなって発行しているものです。たとえば、今年3月号の特集は「生活支援センター」だけさと「訪問」嘘のつけない関口さん サイボーグになりたいNさんにインタビュー」となっており、単なる見学・交流ではない当事者たちのアプローチがうかがわれます。

「働かざるもの食うべからず」という社会の呪文に縛られ、その役割を完璧に果たそうとして孤立に追い込まれ、生き急いで倒れてゆく人々。そんな状況の下、「深呼吸」して再スタートしようというお二人の生活、就労を話していただきます。



第29回共に働くまちを拓くべんきょう会

9月28日（木）6時半～ 越谷市中央市民会館5階第6会議室

資料代・200円 NPO法人 障害者の職場参加をすすめる会

埼玉県越谷市東越谷1-1-7 職場参加)ビューロー・世一緒内 048-964-1819